

真和高校は今年創立60周年

仏教精神に基づく人間教育

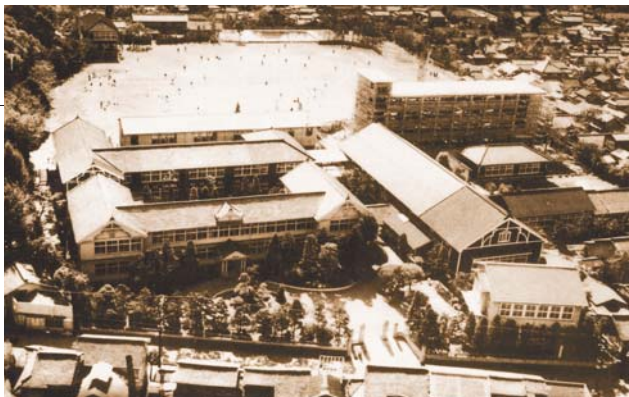
朝礼時に全員が合掌して「誓いの言葉」を斉唱、
週1時間の道徳・宗教の時間や学校行事を通して、日常生活の中で感謝する心を養い、
自らを日々向上させるようにしています。
これらの中で学んだ教養は、在学中はもとより卒業後も一人ひとりの心の糧として
人生の指針となっています。



夏服、冬服、中間服、セータ型。奇をてらうことなく変わらぬスタイルは、凛とした真和の校風を表現しています。

[沿革]

- 明治21年…… 浄土宗鎮西支校として
久留米善導寺町に開校
- 明治34年…… 鎮西学園現在地へ移転
- 昭和35年…… 真和中学校開校
- 昭和38年…… 真和高等学校開校
- 昭和41年…… 真和高等学校第一回卒業式
- 昭和45年…… 真和中学・高等学校
男女共学となる
- 昭和63年…… 学園創立百周年記念式典
- 平成22年…… 真和創立五十周年記念式典
- 平成29年…… 新校舎完成
- 平成30年…… 新体育館完成



ICT

情報通信技術

を活用した教育

Information and Communication Technology

ICTを活用した遠隔授業や学習支援の実施、ITの理論と実際を学ぶ教育など、真和中学・高等学校ではあらゆる活動でICTを活用した教育活動を実践しています。令和2年に校舎内のコンピュータをすべて更新しました。特に情報処理室は、48台のコンピュータを最新の構成のものに一新。情報や中学校技術家庭科での活用はもちろんあらゆる学習活動を最新の性能でサポートしています。授業でも使用し、放課後の鉄緑会のWeb授業にも活用されています。また、個別の学習で作品をまとめるなど生徒たちが大いに活用しています。

また、令和3年度の新中学生から順次一人1台のタブレットパソコンの導入を予定しています。

最適なICT環境の構築

全教室にLAN回線の設置や、共有空間には無線LANの設置、また中学校の全教室には双方向の 프로젝터를常備しています。「スタディサプリ®」や「遠隔授業」は、日常のICT環境整備を行っているからこそ、実現した学びでの形でもあります。



情報処理室

長期化する臨時休校下にあっても、「学び」を止めない仕組み

オンラインによる遠隔授業

双方向の遠隔授業を受験学年からスタート

休校中でもTV会議システムを駆使して、通常と変わらないオンライン授業を行いました。それぞれの教科や担当教師の工夫で、遠隔にマッチした授業づくりを実施しています。環境に馴染むと例えば「遠隔授業中でも質問がしやすい」という生徒もあり、その環境ならではの学習効果も確認できています。



スタディサプリ®

株式会社リクルートが運営するWEB学習サービス

本校では学習支援コンテンツの「スタディサプリ®」を6学年すべての学年に導入し、数万本に及ぶ講義ビデオや問題集をオンラインで全生徒に届けています。

各教科担当から学年や生徒に応じた学びの体系を、丁寧な指導とともに作りあげています。



遠隔授業を経験して 真和高校Ⅱ年1組 川上香好翔

学校が休校となり、スタディサプリが導入されたことで、自分の苦手分野の復習をすることができました。

その後に導入されたzoomでのオンライン授業では、通常の学校の授業と同様に、疑問に感じた部分をその場で質問でき、より学習しやすい環境となりました。

先生方の板書やアプリを活用した授業など、工夫された授業環境により、久々の7限授業も楽しんで受けることができました。

